

公共交通利用状況

《目次》

1 デマンド交通ひめさゆり利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P1
2 高校生通学ライナーバス利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P4
3 井栗地区コミュニティバス利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P5
4 循環バスぐるっとさん利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P6
5 集計結果の考察と今後の改善策	・ ・ ・ ・ ・	P7

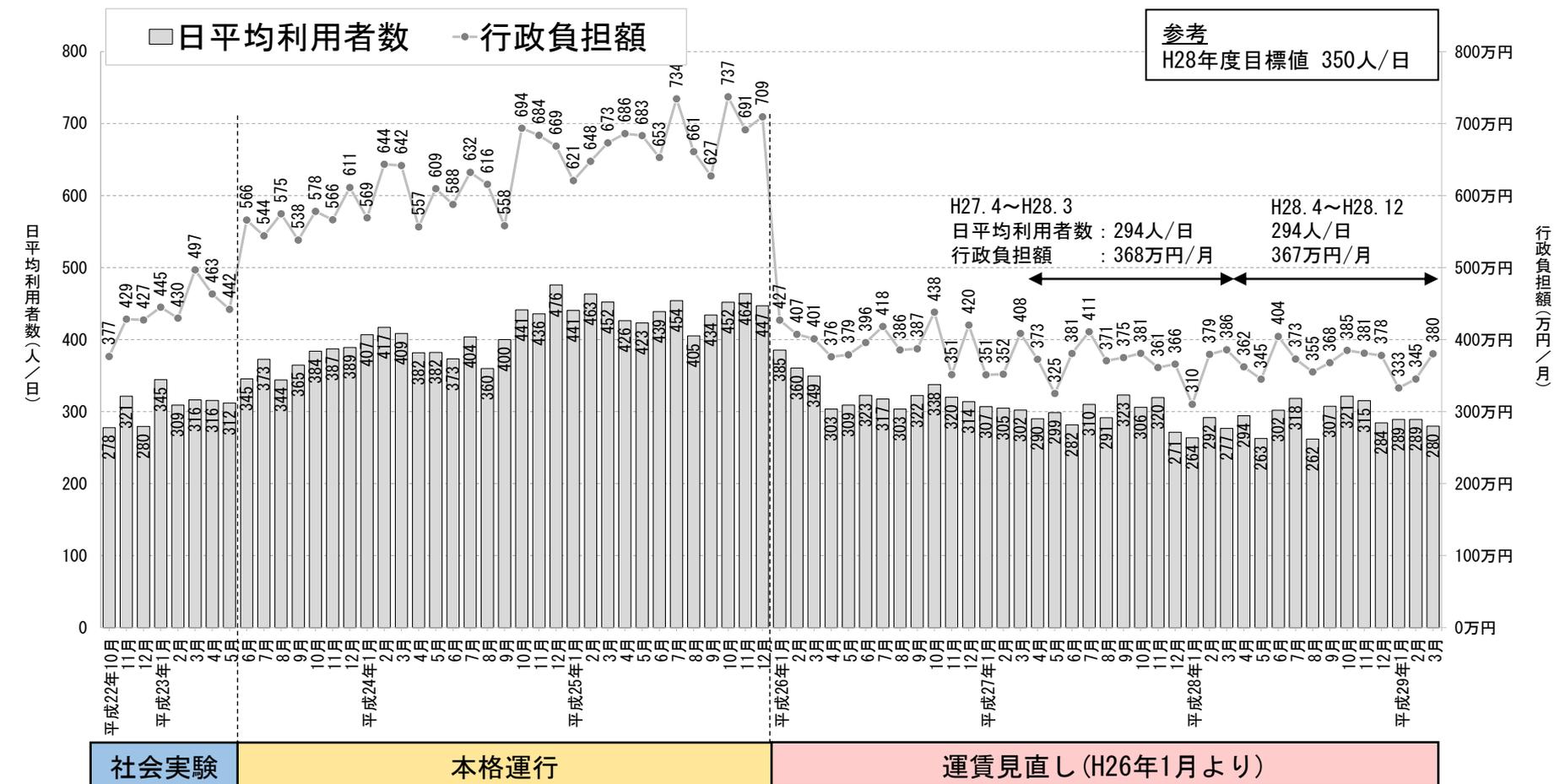
平成29年5月25日(木)

三条市地域公共交通協議会

1 デマンド交通ひめさゆり利用実績

(1)利用者数と行政負担額の推移

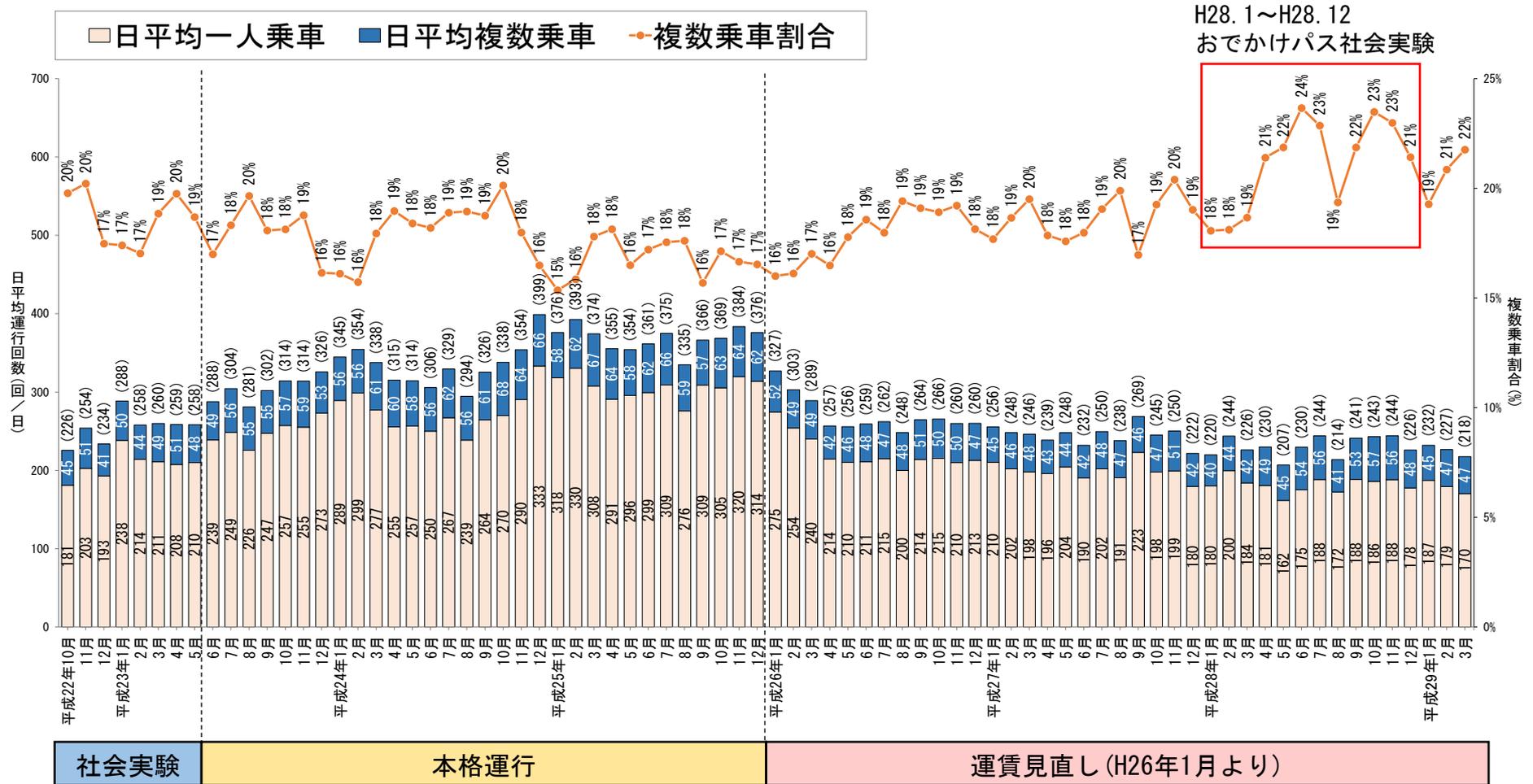
●「ひめさゆり」の利用者数は、約294人/日、行政負担額は、約367万円/月で、平成27年度と比較して、横ばいであった。



※ひめさゆり日報に基づき集計

(3)複数乗車の推移

●平成28年度の複数乗車率は、平成27年度と比較して、微増となった。



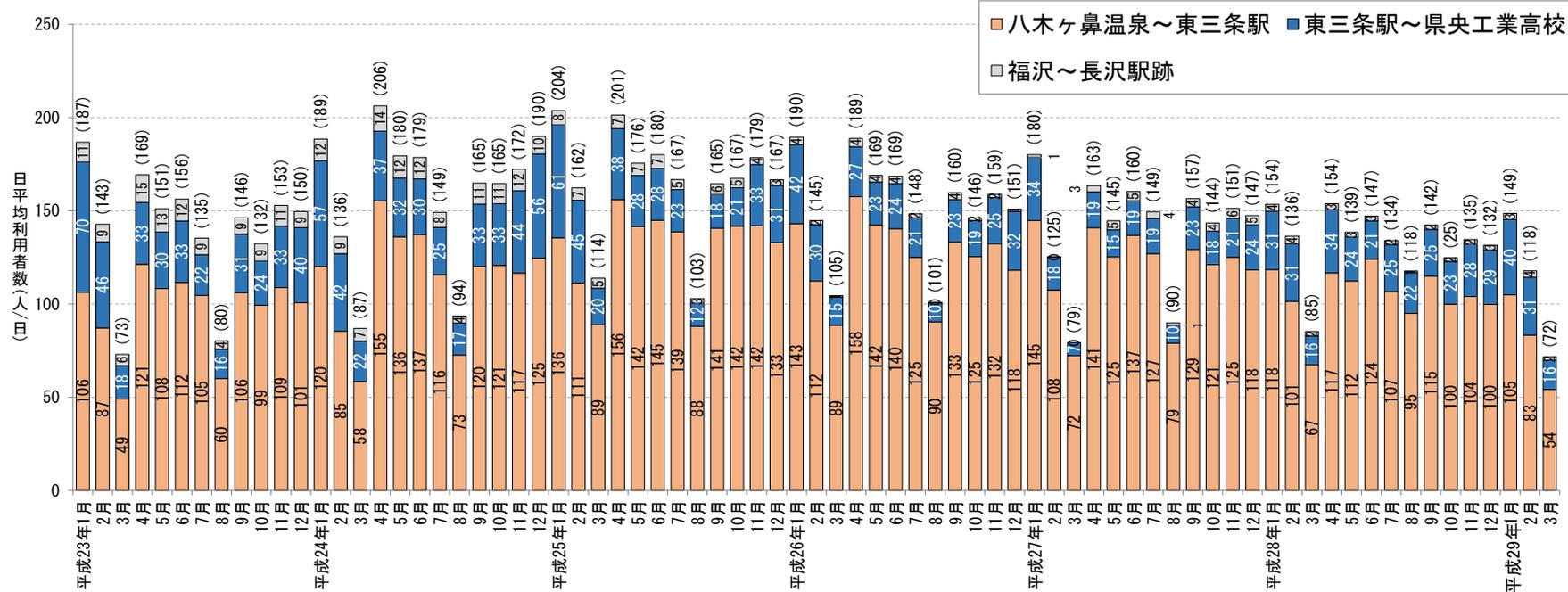
2 高校生通学ライナーバス利用実績

利用者数の推移

●平成27年度と比較して、八木ヶ鼻温泉～東三条駅、福沢～長沢駅跡の利用者数は、減少したものの、東三条駅～県央工業高校の利用者数は、増加した。

	八木ヶ鼻温泉～東三条駅	東三条駅～県央工業高校 (補助対象路線) ※八木ヶ鼻温泉～県央工業 高校の内数	福沢～長沢駅跡 (補助対象路線)
平成23年4月～平成24年3月	134.8人/日	33.1人/日	9.7人/日
平成24年4月～平成25年3月	160.2人/日	37.2人/日	9.4人/日
平成25年4月～平成26年3月	162.1人/日	27.4人/日	4.6人/日
平成26年4月～平成27年3月	149.9人/日	22.8人/日	2.1人/日
平成27年4月～平成28年3月	140.0人/日	21.0人/日	3.9人/日
平成28年4月～平成29年3月	129.3人/日	26.6人/日	2.4人/日

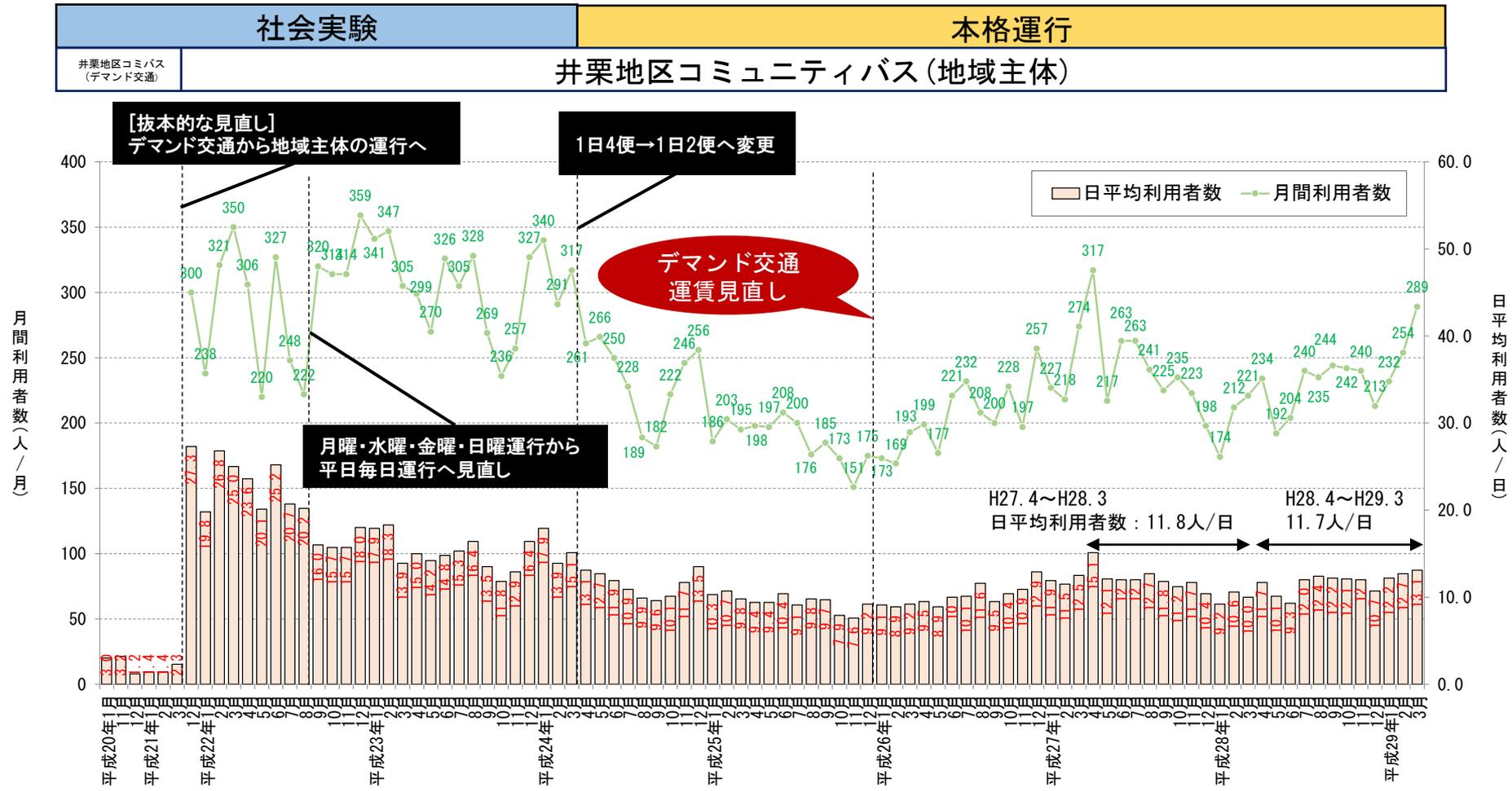
※()内の数字は合計
 ※高校生ライナー利用実績に基づき集計
 ※合計値は端数処理の関係で一致しない場合がある



3 井栗地区コミュニティバス利用実績

利用者数の推移

● 利用者数は、約12人/日となり、平成27年度と比較して、横ばいであった。

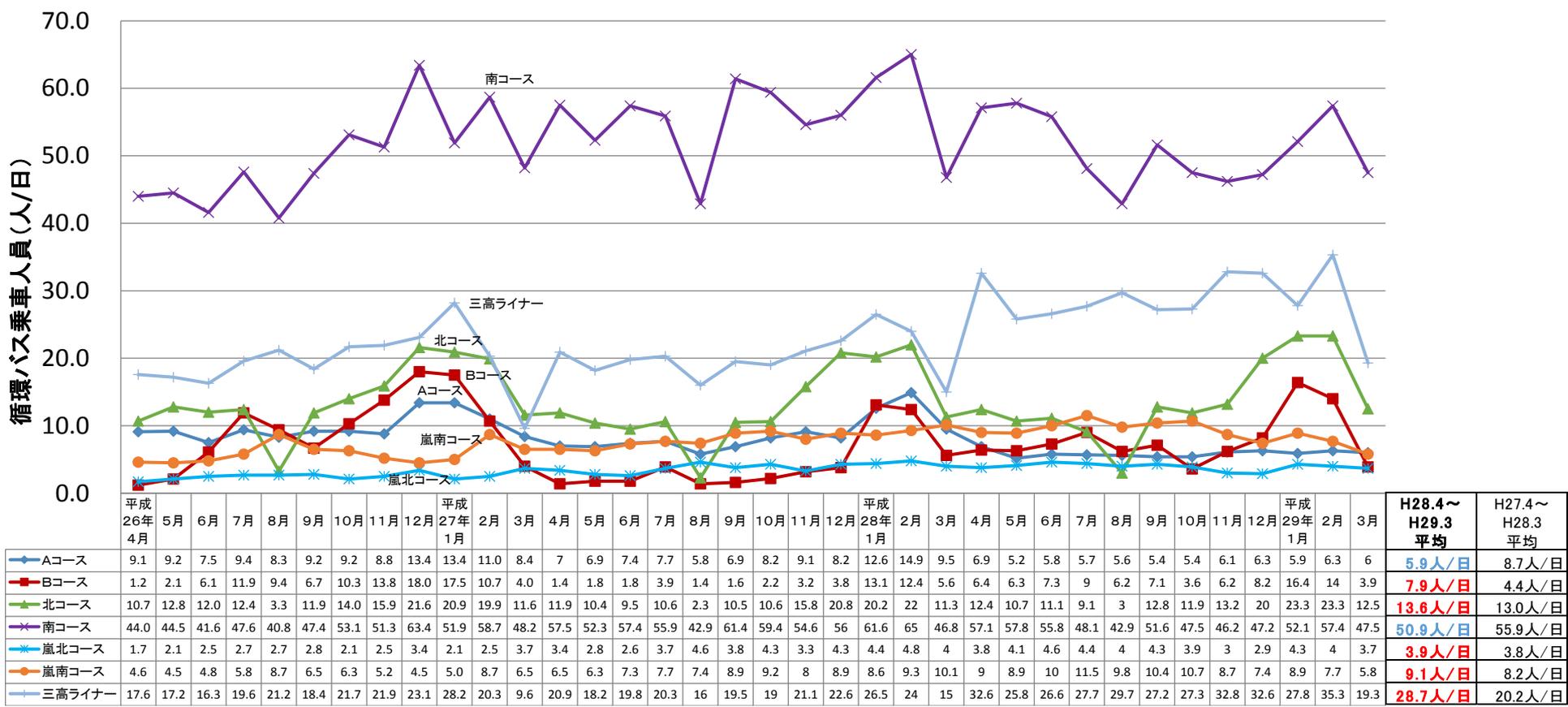


4 平成28年度循環バスぐるっとさん利用実績

H28年度利用者数の推移

●平成28年度の利用者数は、平成27年度と比較して、Bコース・北コース・嵐北コース・嵐南コース・三高ライナーは、増加したものの、Aコース・南コースは、減少した。

※市内循環バスぐるっとさん利用実績に基づき集計



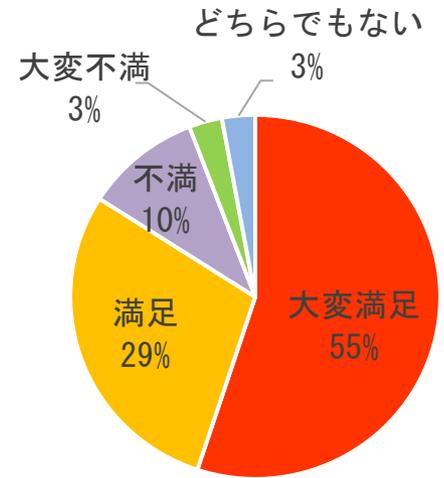
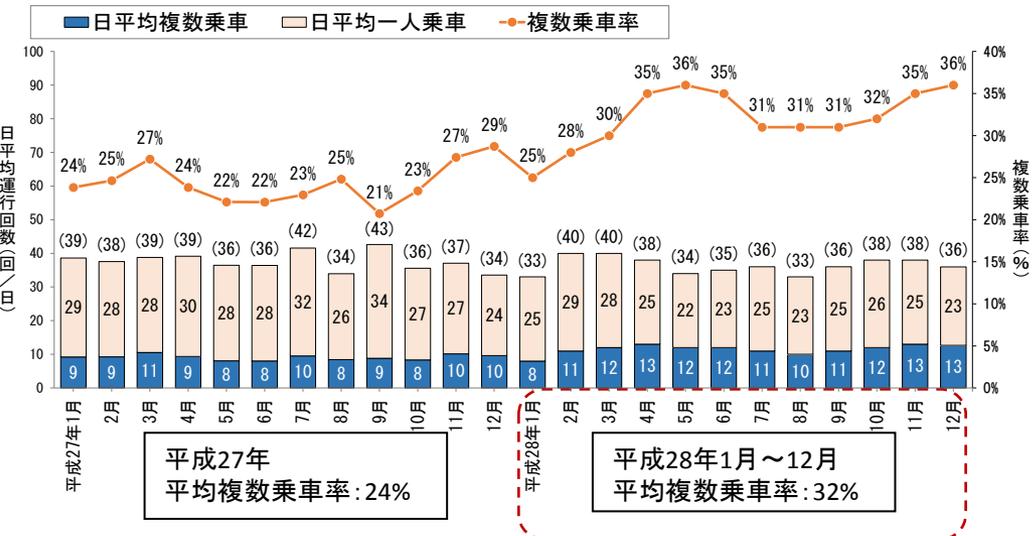
5 集計結果の考察と今後の改善策

ひめさゆり

- 平成27年度からの利用者数が横ばいとなっていることから、利用者が固定化していることも考えられる。
- 「おでかけパス」事業について、下田地域での社会実験期間中は、複数乗車率が増加していることから、複数乗車率向上に一定の効果があることが考えられる。
- 平成29年7月からの「おでかけパス」の全市展開実施により、複数乗車率の更なる向上が期待できる。

■参考：「おでかけパス」社会実験中の複数乗車率の推移

■参考：「おでかけパス」の満足度 (H28年度実施の利用者アンケートより)



n=69 (無回答等を除く)

5 集計結果の考察と今後の改善策

高校生通学ライナー

- 東三条駅～県央工業高校間を除き、総じて利用者数が減少しており、利用者のニーズとの乖離が考えられる。
- たとえば、運行ルートの見直しや利用者へのアンケート調査の実施など、ニーズに合わせた利便性の高い運行内容を検討していく。

井栗地区コミュニティバス

- 利用者数は横ばいであり、大きな課題等は見られないことから、引き続き地域の重要な移動手段として継続して運行していけるよう、今後の利用状況を見ていく。

循環バスぐるっとさん

- コースによって増減があるものの、いずれのコースも更なる利用促進が必要であると考えられる。
- たとえば、循環バスの利用促進に関する広報を強化するなど利用者の拡大に向けた対策を検討していく。